

プログラム名 (40字以内)	インド工科大学マドラス校での学生交流と文化体験活動 -日本語教育ワークショップ・企業訪問を通して-		
団体名/所属	工学系研究科 国際工学教育推進機構 国際教育部門		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/2/16(日)~2/23(土)	主な活動予定場所	インド工科大学マドラス校およびその近郊、ニューデリー
プログラム実施の目的	インドで既成概念にとらわれない、チャレンジ精神を養う。インド工科大学マドラス校(IIT-M)で日本語授業や学生交流により異文化を理解・尊重するグローバル意識を育てる機会を提供する。インドの世界遺産(マハーバリプラム大寺院群)の見学などによって、インド文化、伝統、歴史などの理解を深め、インドでのビジネス環境を知り、視野を広める。		
具体的な内容(800字程度)	<p>・IIT-Mでインド人学生と交流を深め、日本語授業コースに参加し、インド文化の理解を深めると同時に、日本、日本語について振り返り、日本語教育の意義やあり方について考える機会とする。</p> <p>・IIT-Mの学生と共に講義に参加、寮に宿泊し、食事などを共にすることによって、留学の意義を考え、自己研鑽の楽しさを体験する。</p> <p>・世界遺産である「マハーバリプラム大寺院群」を見学し、インド文化、伝統、歴史などの理解を深める。</p> <p>・インドで活躍するインド赤門会先輩諸氏との交流を通じて、今後のキャリアについて視野を広める。</p> <p>【日程】 2月16日(日) 成田発 → チェンナイ 2月17日(月) IIT-Mの講義に参加 日本語・日本文化ワークショップ 2月18日(月) IIT-Mの講義に参加 日本文化体験 2月19日(火) IIT-Mの授業に参加 インド文化体験 2月20日(水) チェンナイ近郊 世界遺産「マハーバリプラム大寺院群」見学 2月21日(木) チェンナイ発→デリー着 2月22日(金) 企業訪問、赤門会との懇親会 2月23日(土) デリー観光 デリー→成田</p>		
【総額】参加するための費用	航空運賃-実費 +70,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	30,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	航空運賃-実費+インド国内交通費 15,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	食費 15,000円 観光費用その他 10,000円		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	<p>・本企画は工学系研究科日本語教室の主催である。</p> <p>・事前オリエンテーションの参加は必須である。第1回のオリエンテーションは、6月下旬。</p> <p>・インド工科大学(Indian Institutes of Technology)は、工学と科学技術を専門とする、インドの16の国立大学の総体でありKanpur校はその一つである。高い研究・教育水準で国際的にも認められている。IIT-Mは工科大学ではあるが、人文社会系の専攻も備えており、文系も受け入れることができる。</p> <p>・成田・ニューデリー往復フライトを後日、推奨する。他の航空会社を利用する者は、現地空港に集合時間までに到着のこと。</p> <p>・宿舎、車はプログラム企画団体の指定とする。</p> <p>・滞在期間中の参加者各自の安全管理と健康管理にはプログラム企画団体ガイドのアドバイスに従い、十分気を付けること。</p> <p>・A型肝炎の予防接種を推奨</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	特になし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	工学系研究科日本語教育部門 、 インド工科大学マドラス校 、 東インド事務所 、 インド赤門会		
この企画に対する担当者(応募団体の)の参加の有無	参加する		